

車体業界の市場動向

1. 車体工業会の現状

- ・商用車全体の販売状況
- ・会員生産台数

2. 取り巻く環境変化

- ・GDP成長率
- ・NOx・PM法特需の代替
- ・代替母数の減少続く
- ・使用年数の伸び続く
- ・貨物輸送量の減少続く
- ・営業車比率

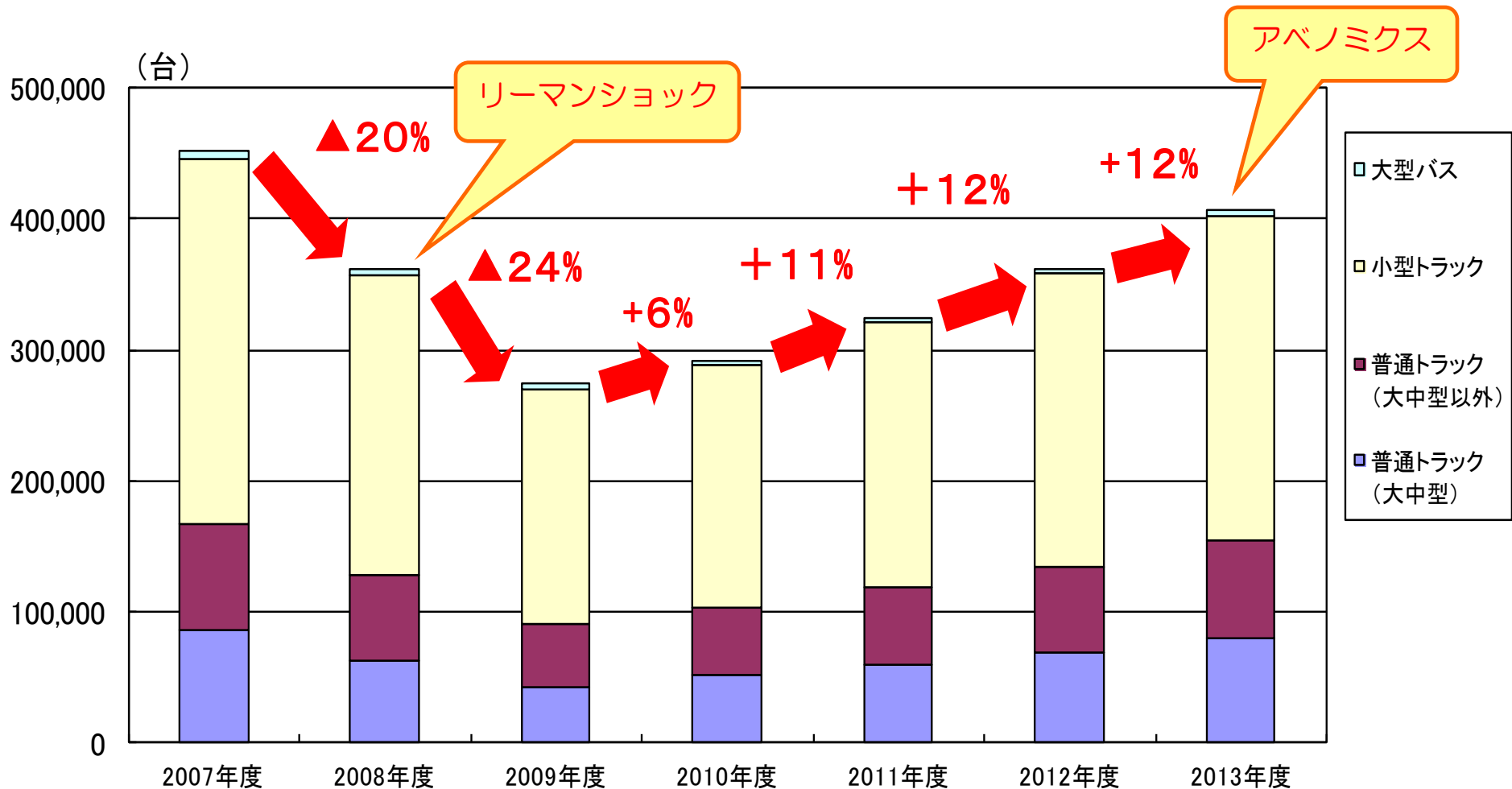
2014年8月

日本自動車車体工業会

1. 車体工業会の現状

商用車全体の販売状況

2013年度実績 (貨物車+大型バス)



出所：一般社団法人 日本自動車販売協会連合会 一般社団法人 日本自動車工業会

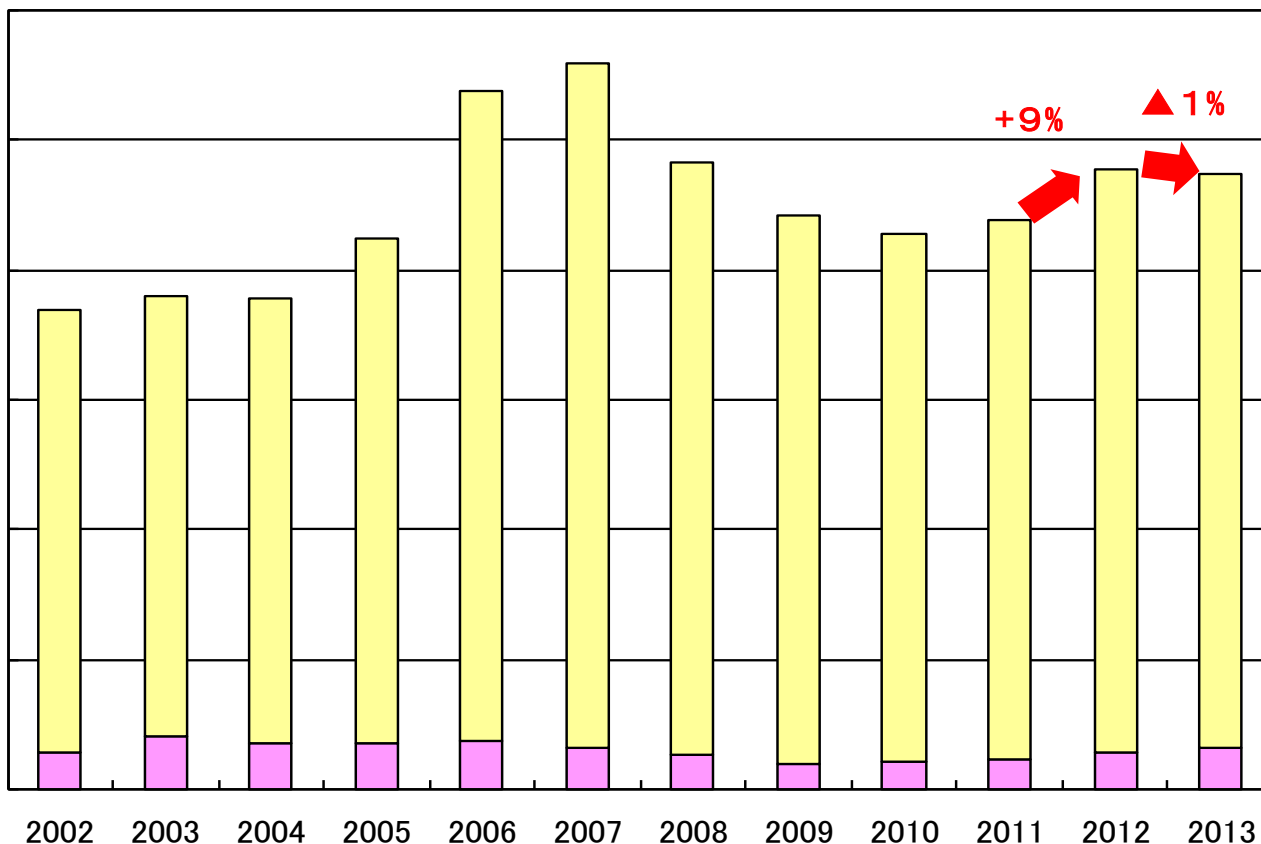
1. 車体工業会の現状

会員生産台数（全体）

- 軽自動車の生産移管や補助金の終了等により、
237万台と前年度比1%の減少

(万台)

300
250
200
150
100
50
0



+9%
▲1%

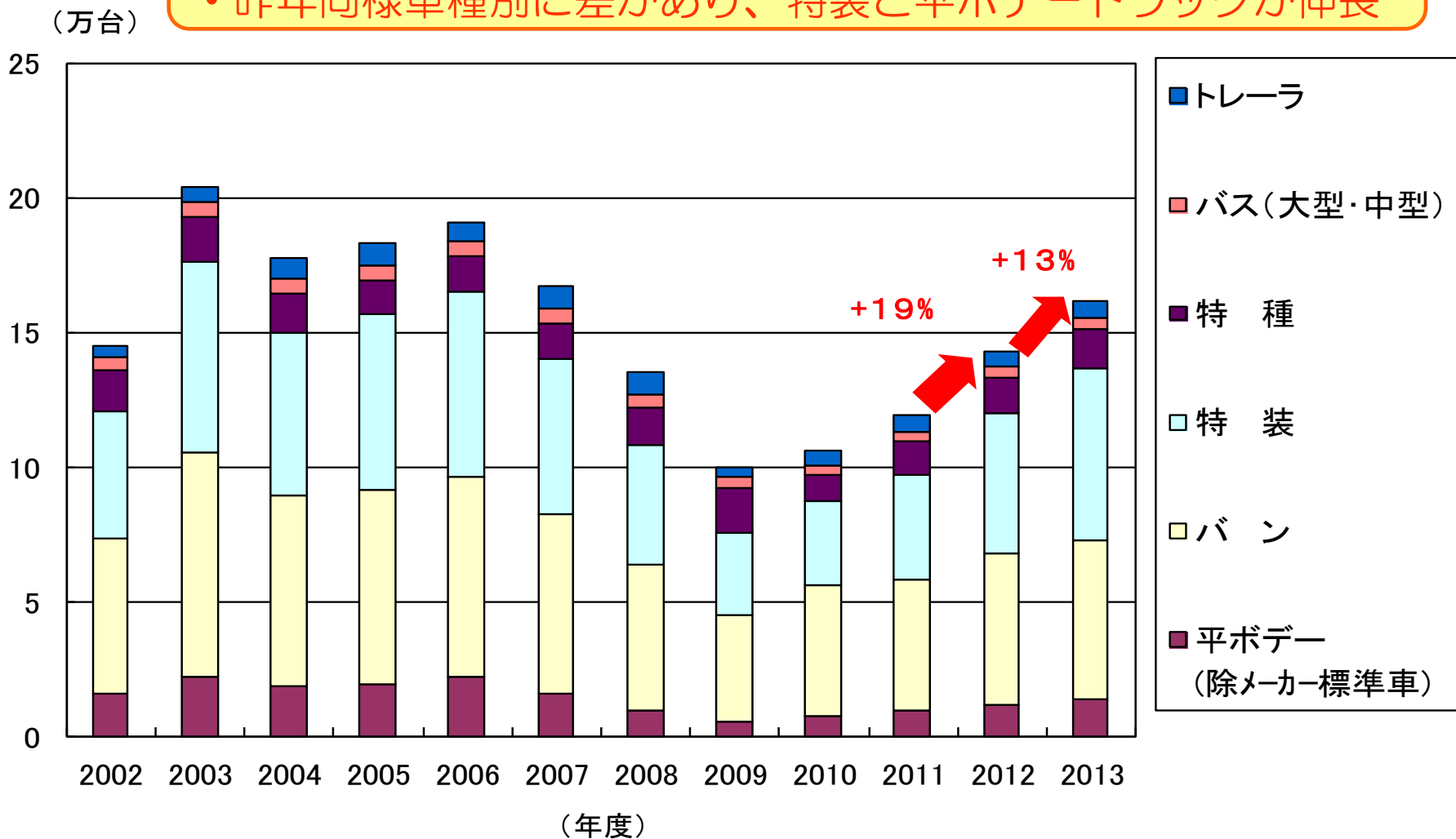
- 量産車
乗用車・小型商用車
トラック平ボデー
(メーカー標準車)
小型・マイクロバス
- 非量産車
トラック平ボデー
(除くメーカー標準車)
バン
特装
特種
大型・中型バス
トレーラ

(年度)

1. 車体工業会の現状

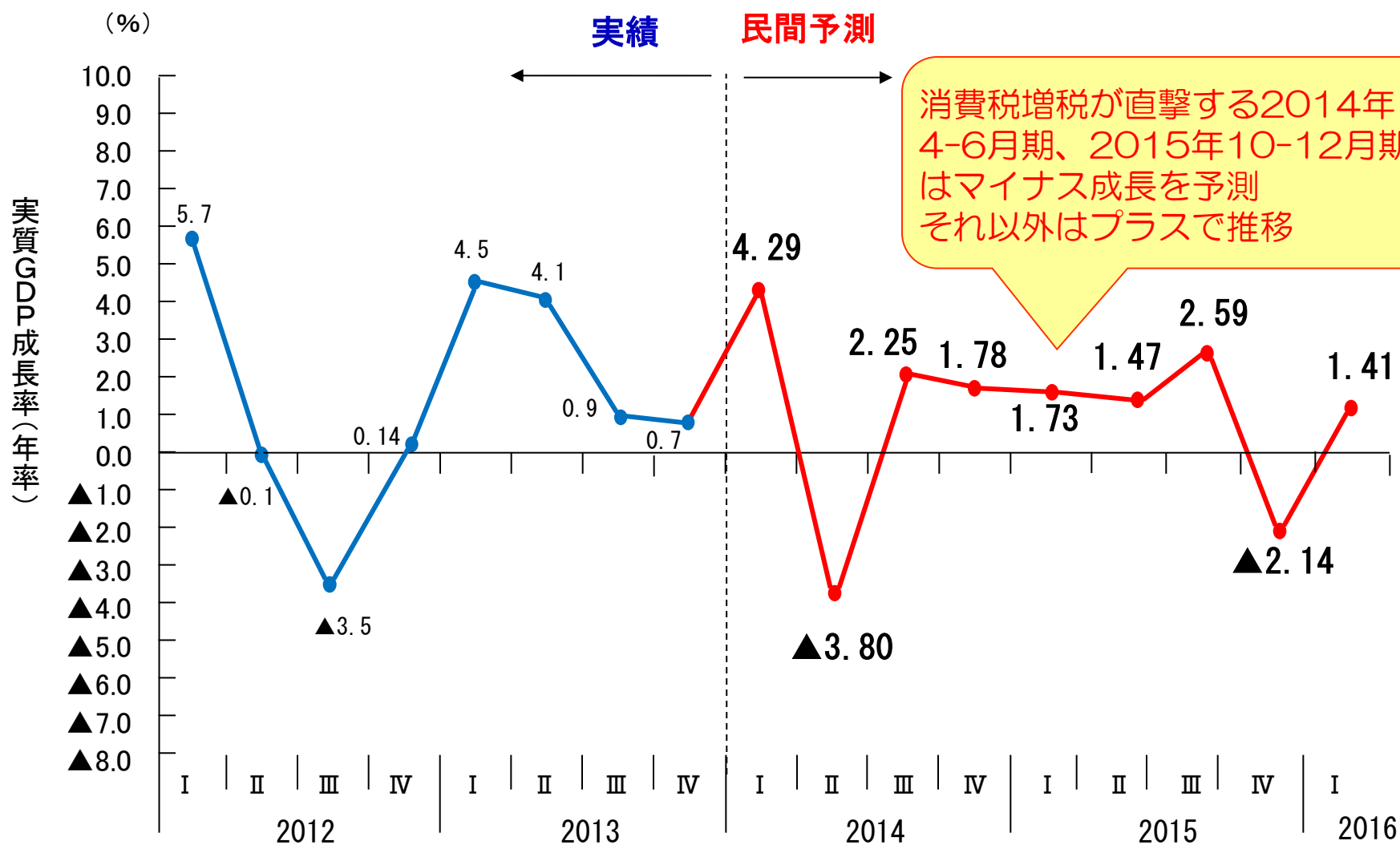
会員生産台数（非量産車）

- 2013年度実績は前年度比13%と増加
- 昨年同様車種別に差があり、特装と平ボデートラックが伸長



2. 取り巻く環境変化

GDP成長率

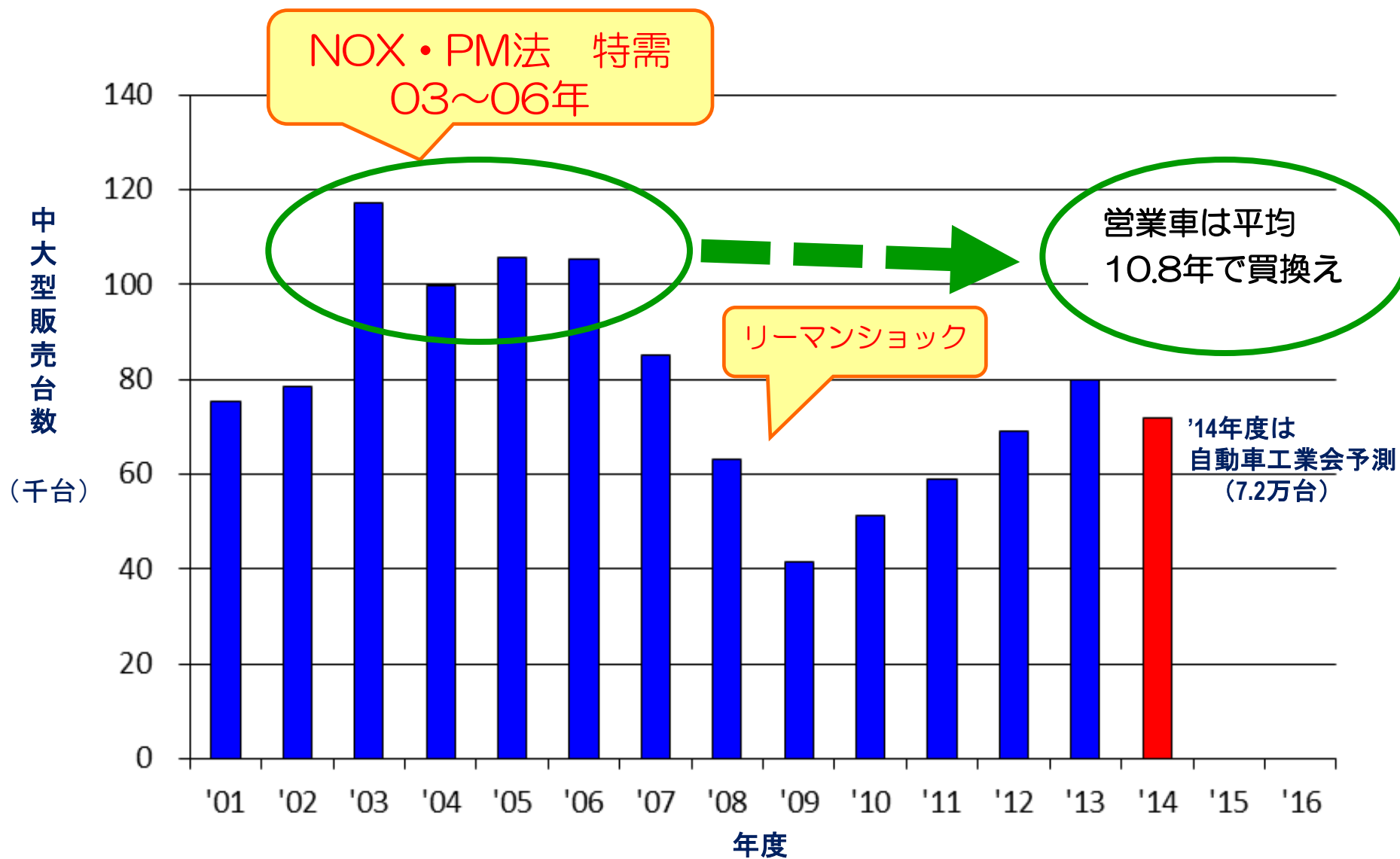


出所：ESPフォーキャスト調査（日本経済研究センター）

日本の実質GDP成長率の予測（民間予測機関の平均値2014年4月調査（4月28日～5月7日回答））

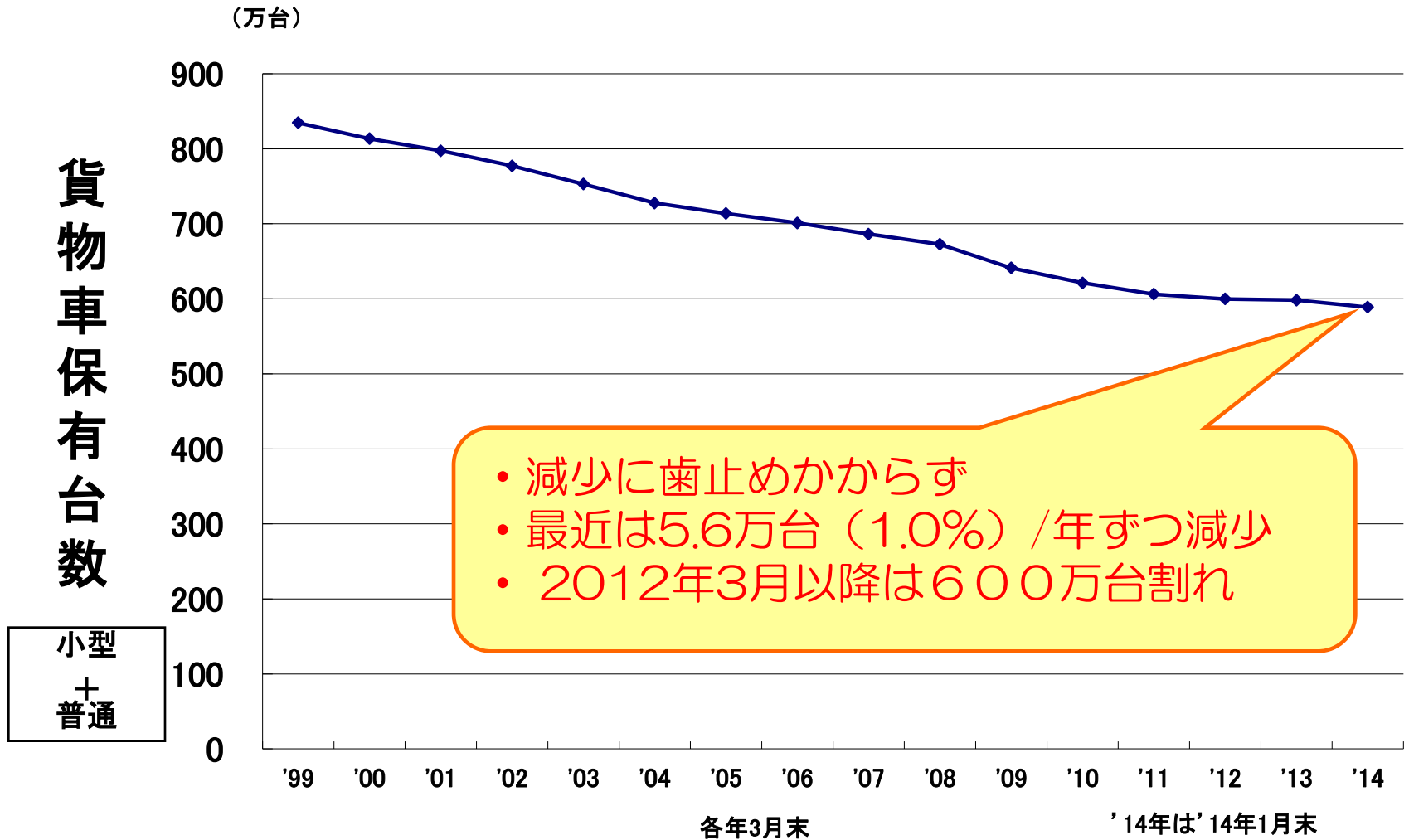
2. 取り巻く環境変化

Nox・PM法特需の代替



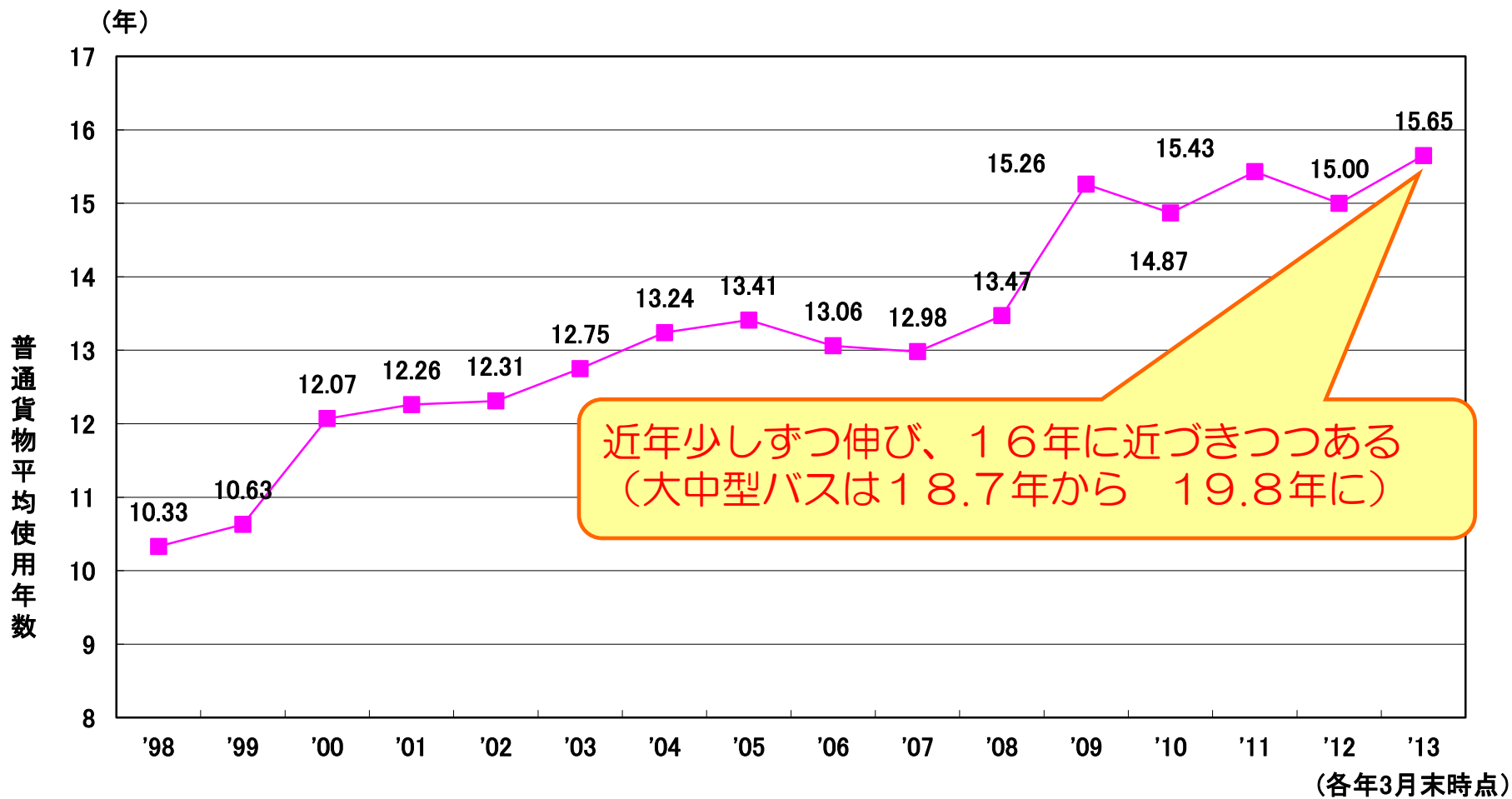
2. 取り巻く環境変化

代替母数の減少続く



2. 取り巻く環境変化

使用年数の伸び続く

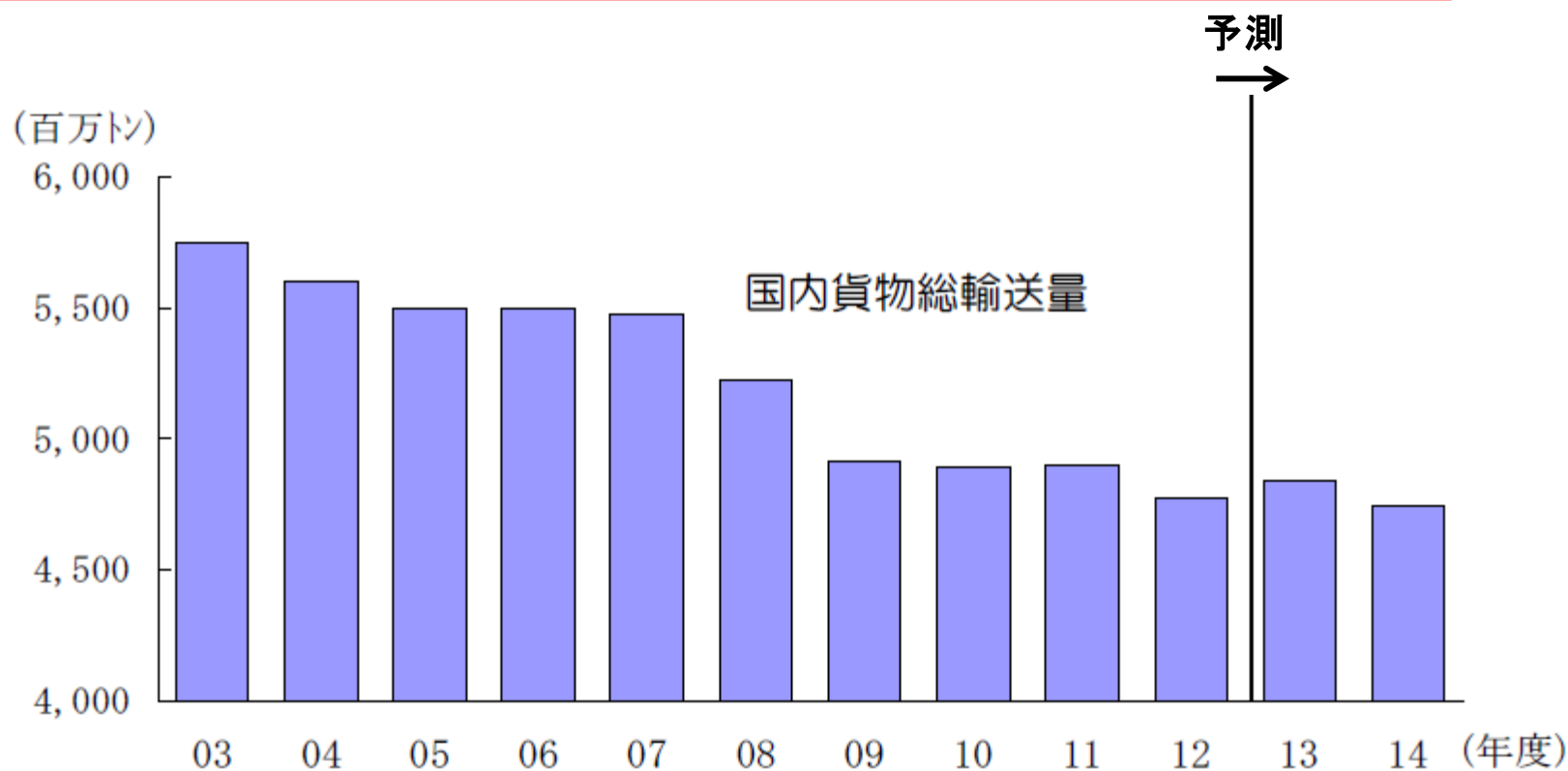


出所：一般財団法人自動車検査登録情報協会

2. 取り巻く環境変化

貨物輸送量の減少続く

- この10年間で▲17%と長期に減少傾向続く
- 社会構造の変化に伴い、今後も減少傾向が続く見込み



2. 取り巻く環境変化

営業車比率

- 営業車比率のアップが続いていたが、2012年度はやや減少

